

須坂の変容を「翻訳」する



信州大学工学部
建築学科三年楠みのり



歩いてみて気づいたこと

須坂には魅力的な要素がたくさん残っている

13.
大勢訪れていた



04.
流れていた用水



15.
民家のオク



03. 下校中の姿



06. 水の流れ



05.
須坂の坂



06.
山の景色



07.
水を吸う植物



08.



12.



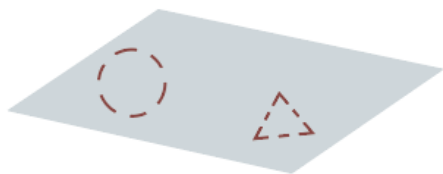
提案概要

現状：季節や時代、社会の移り変わりが隠れている

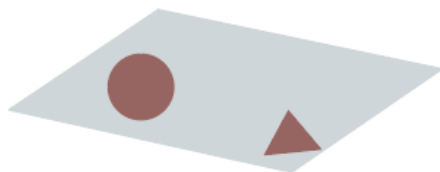


- ・歴史を見えるようにしよう
- ・変化を強調しよう
- ・変化を許容しよう

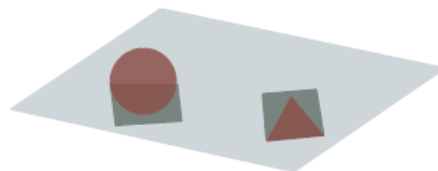
段階的な再生計画：



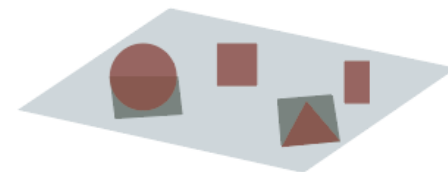
現状：
変化が隠れている



Step1：
変化を現す

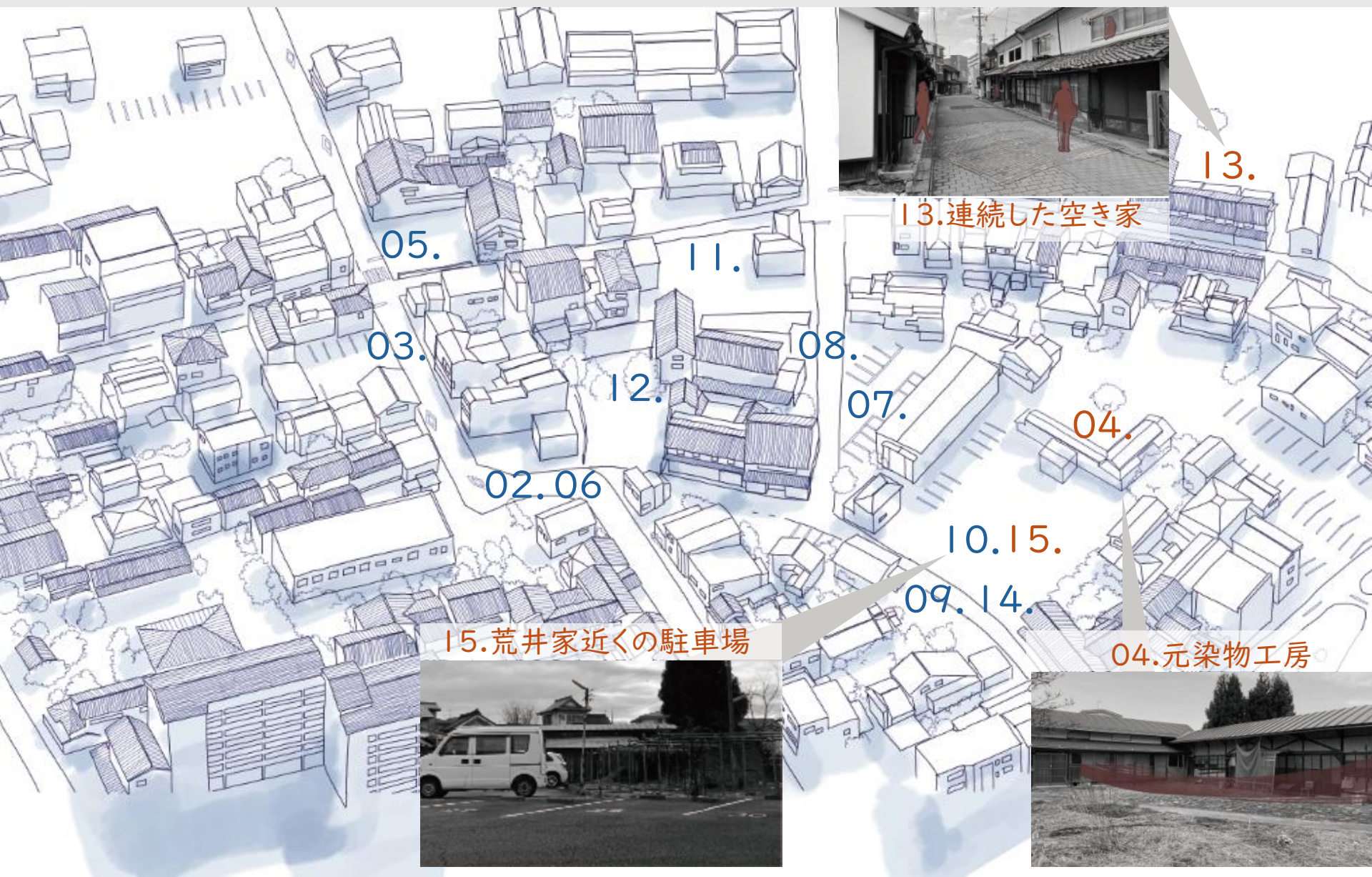


Step2：
変化を受け止める



Step3：
変化が広がっていく

全体計画



05.

11.

03.

12.

08.

02.06

07.

04.

10.15.

09.14.

15. 荒井家近くの駐車場

04. 元染物工房

13.

13. 連続した空き家

04. 須坂の製糸業の変化 (Step I: 変化を現す)

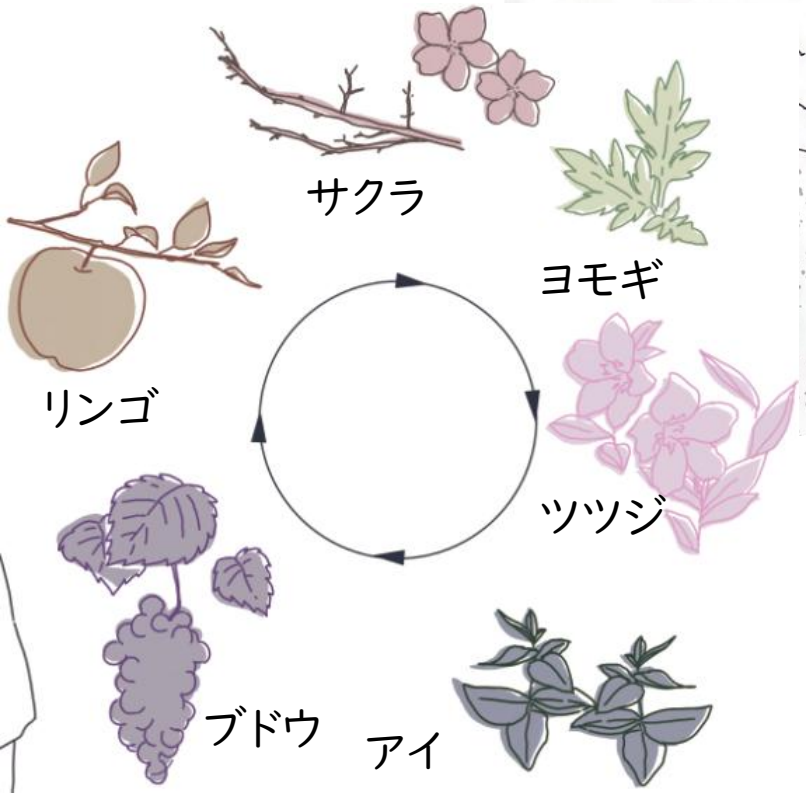
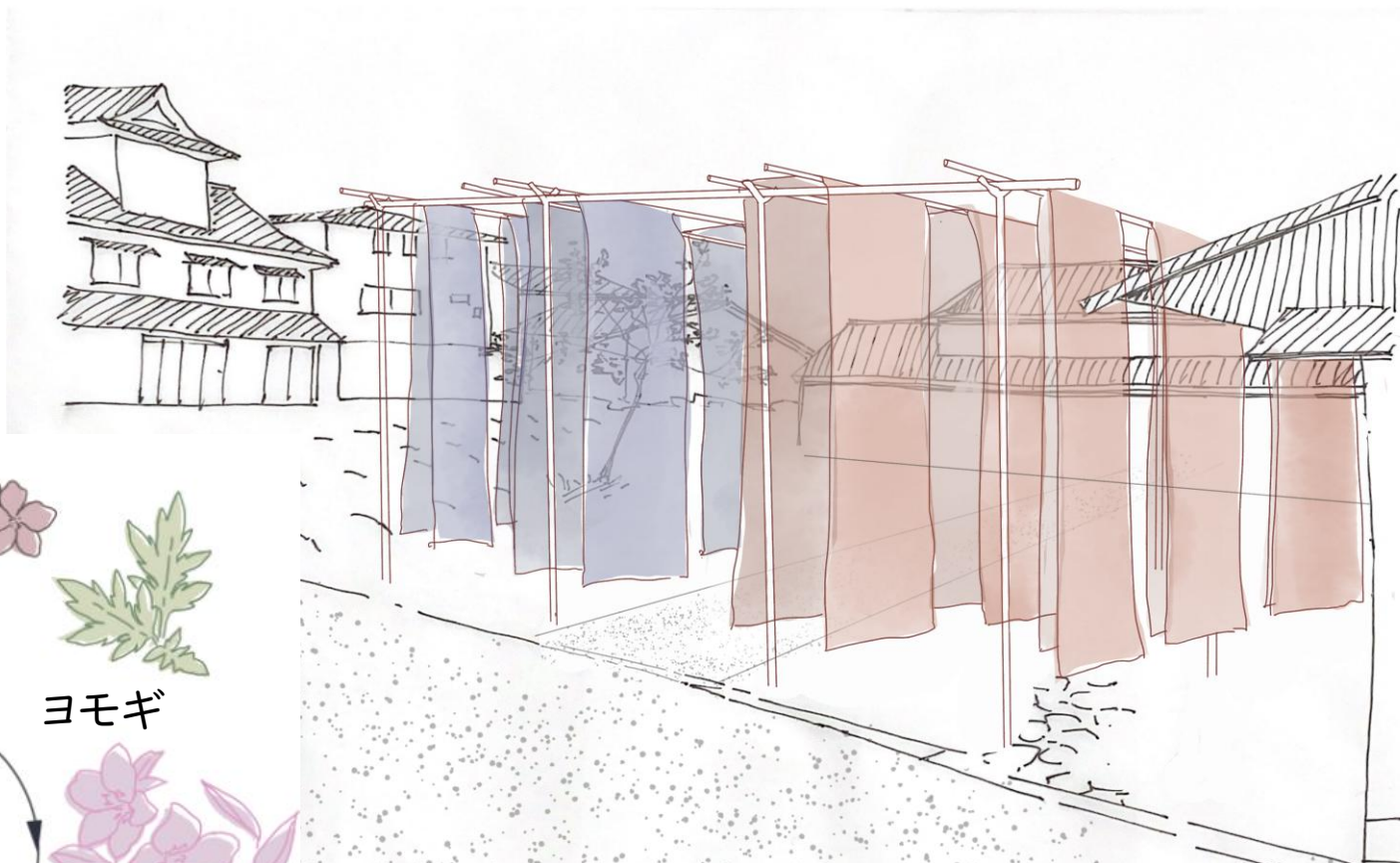


設計手法：“残す”

須坂市は昔製糸業で栄え多くの生糸を生産し、海外へ輸出していた。

織物という歴史 季節による色の移ろいを現す

04. 染め物工房として復活 (Step I: 変化を現す)



建物を改修し、手前の丸石が敷かれた広場は季節の草木で染め上げた布を干す場として利用する。

13. 住む人の変化 (Step2: 変化を受け止める)



設計手法：“育てる”

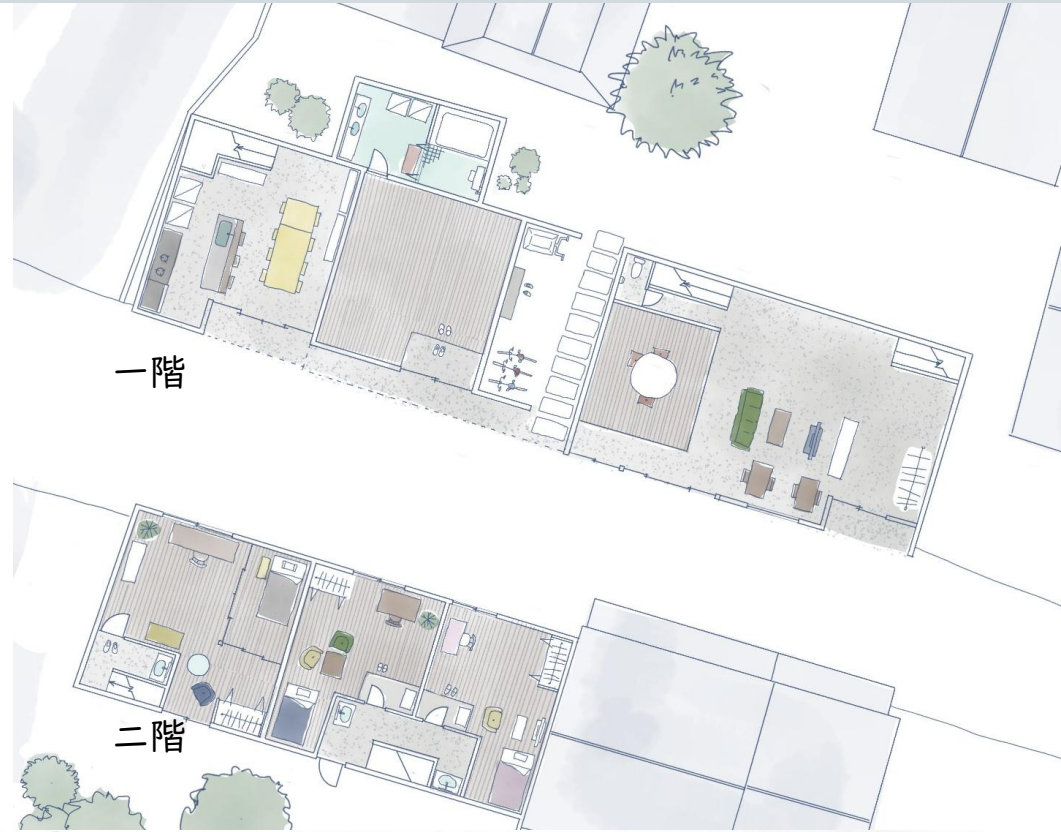
連なって魅力的なみちをつくる町家だが、ほとんどが空き家に…

住む人の変化を受け止める

1.3. 町家を若者向けアパートに改修

(Step2: 変化を受け止める)

空き家を改修し若者向けの
共用住宅をつくる。
街に開いた一階共用空間
が、若者の姿を見える化
する



15.車による土地の変化 (Step3:変化がひろがっていく)

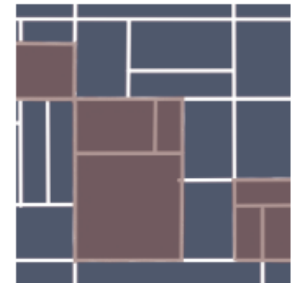


車の登場で駐車場が増加。かつて家があった場所は空き家→空き地→駐車場と変化。

駐車場利用に変化を生み出していく。

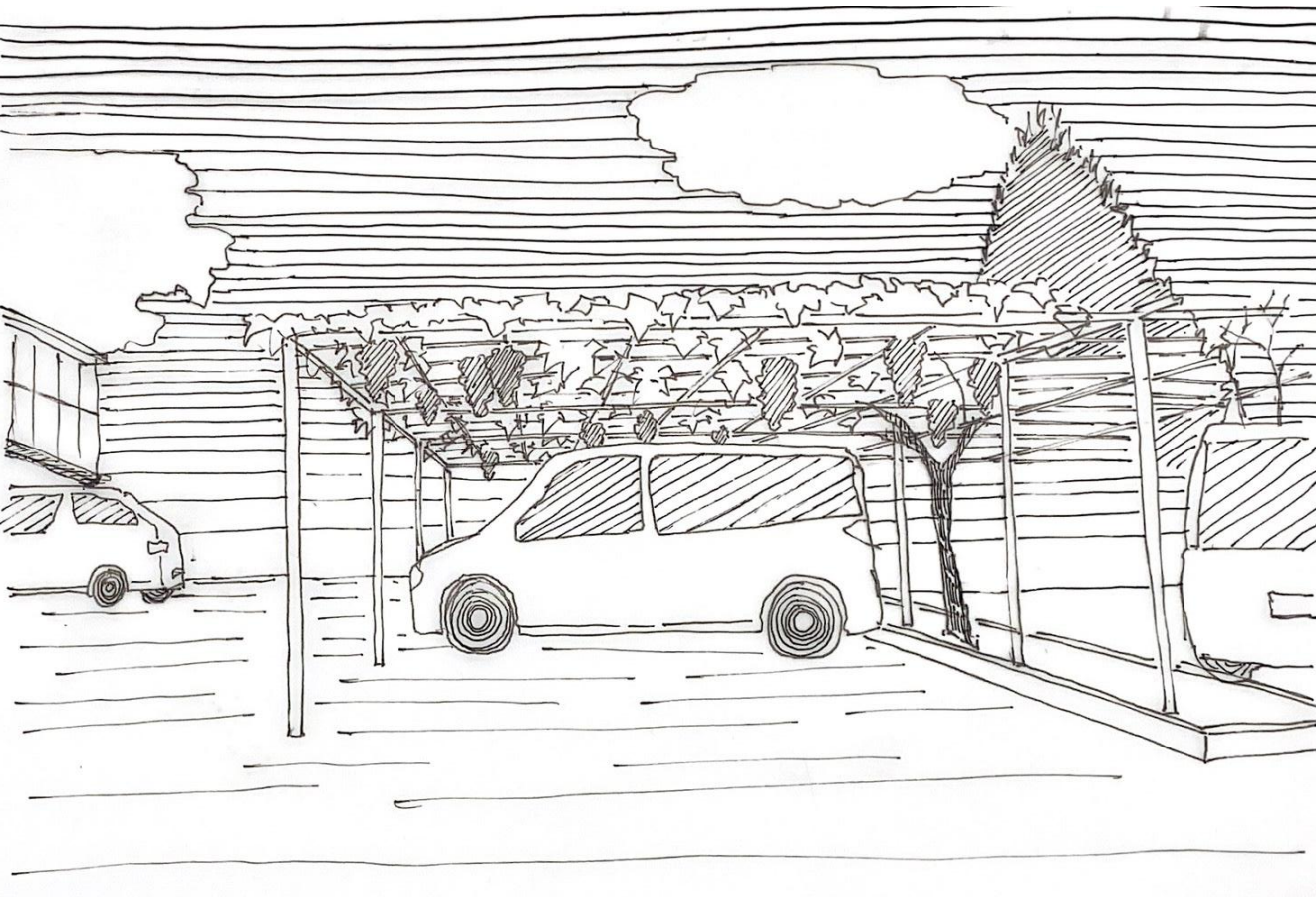


設計手法：
“育てる”

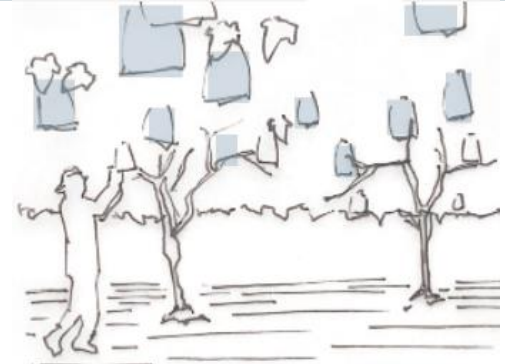


“ずらす”

15. 駐車場×ブドウ棚 (Step3:変化がひろがっていく)



駐車場上部に架構をかけ、ブドウ棚として利用。
駐車場は車に乗り降りする一瞬の利用から、
手入れする場所へ変わる。



夏:傘かけ



秋:収穫



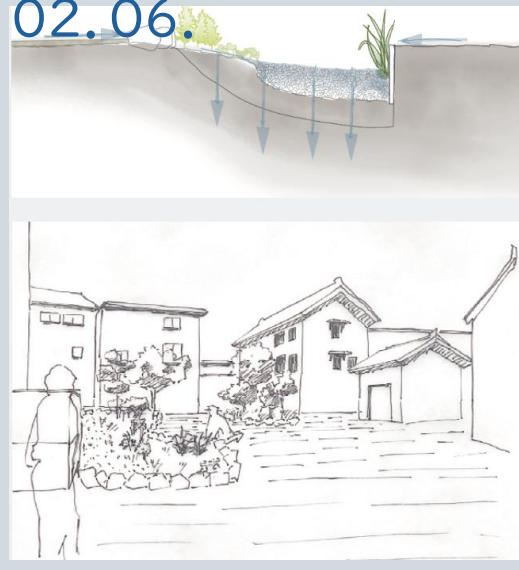
冬:藁巻き

その他

01.



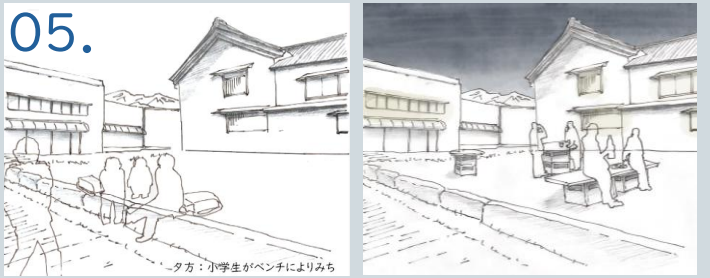
02.06.



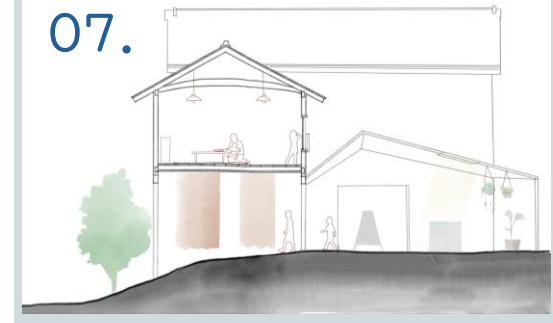
03.



05.



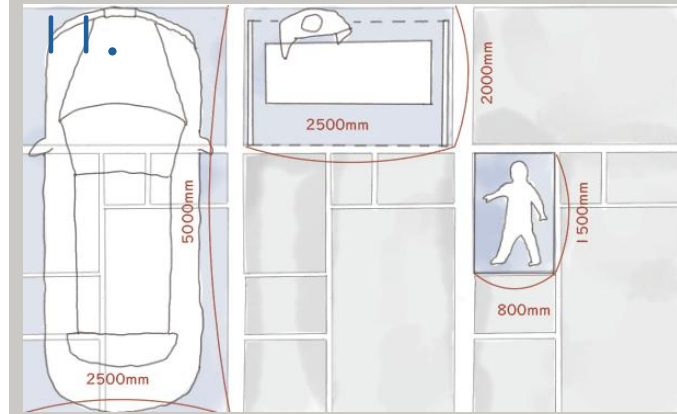
07.



09.14.



11.



12.



ご清聴ありがとうございました。

